



都城東から世界へ! To the world from Miyakonojo Higashi

～日本の未来をささえ、グローバルな舞台で活躍できる『人材』を育成します～

本校が推進している『グローバル教育』を、海外での語学研修を通して経験した生徒や活躍中の *English Teacher* の感想や気持ちを伝えていくページです。

語学研修 Language training クローズアップ

『語学研修に参加して』

調理科 1年生 稲留 安望さん(有明中出身)

体験入学で先輩方がフィリピン語学研修での体験を話されたとき、私は海外への興味を持ちました。入学後、語学研修についての案内があったとき私は迷わず申込みをしました。事前指導のなかで、StudentTeacherからフィリピンの生活習慣や食文化について教わり、わくわくと不安を胸に出発しました。バスと飛行機を乗り継いでフィリピンに到着し、現地での生活が始まりました。学校がある日は午前中グループに分かれて授業を受け、午後からは1対1の個人授業でした。全くといっていいほど分からない英語を少しずつ理解し片言ながらも会話ができるようになりました。個人授業では、分からないところを分かるようになるまで教えてもらい、研修に参加してよかったと実感できました。休日は最初のころ寮からでることができませんでしたが、Activityなどの活動を通じて、協力して行動する大切さを学ぶことができました。生活に慣れてくると買い物へ出かけたり食事を楽しむこともできるようになりました。物価は日本と比べて安いものもありましたが、あまり変わりませんでした。食事に関して、日本食に慣れ親しんでいる私は、現地の味づけに戸惑いながら食べていましたが、チキン料理はおいしく食べることができました。一番の思い出は、街中がマスクをつけた人で溢れるマスカラフェスティバルです。私もマスクを作り、イベント当日に持っていき楽しみました。パフォーマンスではダンサーの動きがとても激しくて身に付けている衣装など、とても印象的でした。この語学研修を通して私は、一層英語が好きになりました。そして、話すことが苦手だった私が積極的に話の中に参加することができるようになりました。初めはどうかと思っていた研修でしたが、とてもいい経験をしたと思います。



今年八月に行われた国際交流の第二弾として十一月六日(金)十三日(金)わたり、イタリア国ローマ市のルクレツィオ・カロ高校から生徒十一名、引率教師一名が本校を訪れました。在校生との交流だけでなく、地域の小学校児童宅や本校生徒宅でのホームステイや、都城市・三股町の小学校訪問など通して両国の文化を学び合いました。

初日は、交流生及びホストファミリーを招いての歓迎パーティが催されました。パーティでは、調理科が作った料理を囲みながら三味線の披露などが行われ、お互いに親睦を深めました。日本語を学んでいるという国際交流生達は、日本のおもてなしに感激の声をあげていました。

交流の主な内容として、本校では調理実習や各クラス授業への参加など、レクリエーションでは生け花や書道の体験などが行われました。滞在期間の後半は、三股町内や都城市の小学校へ訪問し、日本の伝統芸能や給食を体験するなど国際交流生にとっても素晴らしいものとなりました。その他、各地の観光地を巡るツアーを行い、日本とイタリアの気候や文化の違いを存分に感じ取ってもらえたものと思います。

今後も、グローバル化が進む社会に必要な、自ら進んでコミュニケーションをとれる人間の育成を目指して、同様の活動を展開して参ります。



調理実習では「和食」に挑戦しました。



生け花体験では、個性豊かな出来上がり。



自分の名前を漢字で表現。



日本での生活はどうでしたか？



小学校では日本文化の体験をしました。



イタリアで発行された日本紹介誌を頂きました。

Student Teacher from University of St. La Salle, Philippines 先生の紹介と 都城東での目標

Baberlyn Picazo
生徒達が英語を学ぶための手助けをし、英語を好きになってもらうために私が持っている知識や技術を教えたい。そして生徒からも多くの事を学びたい。

ベイバリン先生
趣味：物語を書く・写真・読書
専攻：一般初等教育

Eliza Cuesta
生徒達へ英語を学ぶ事の価値を伝えたい。グローバルを活発にし英語を浸透させたい。国際化、グローバル化に近づくように視野を広げ英語の大切さを伝えたい。

イライザ先生
趣味：料理・ネット・旅行
専攻：初等教育 特別支援専攻

Jezza Belgira
英語の授業が生徒のコミュニケーション能力の手助けになり上達するとうれいのです。そしてまた私達とコミュニケーションを通じて、輪を広げてもらいたい。

ジェザ先生
趣味：フットボール・写真加工
専攻：初等教育 幼児教育専攻

Janelle Domingo
生徒がグローバルに対応できるよう、一人ひとりに必要なことを教え、英語力を高めたい。私が学んだ知識を伝え、精神面でなく生徒達の内面も成長させたい。

ジャネイル先生
趣味：ショッピング・フリスビー
専攻：一般初等教育

Maica Locsin
自分ができていることを精一杯やりたい。先生方も協力して生徒達の生活に活かせる指導方を取り入れ、生徒と良い関係を築いていきたい。

マイカ先生
趣味：フリスビー・読書
専攻：初等教育 一般教育専攻

木上 勇介君 (調理科 3 年生)
八重元拓海君 (自動車工業科 3 年生)

が発表を行いました

11 月に行われた各行事において、調理科木上勇介君と自動車工業科八重元拓海君が壇上で発表を行いました

11 月 23 日 (月) に行なわれた、第 34 回 宮崎県私学振興大会 (宮崎市 宮崎市民プラザにて開催) では調理科 3 年生の木上勇介君 (山之口中出身) が、国会議員をはじめ、宮崎県知事、宮崎県内の私立小中高校の関係者など約 550 名を前に、「たった一つの武器 ～世界一へ歩む」をタイトルとして意見発表を行いました。



幼いころから料理が好きで、世界一の料理人になるために都城東高校を選んだという木上君は、「1 年生の時にコンテストに出場したが 3 位に終わり、とても悔しい思いをした。それをバネに放課後も練習に励み、翌年は数々の大会で優勝することができました」と述べ、諦めないで努力し続けることが自分の夢の実現に必要であると伝えました。また、帝国ホテル東京へ内定が決まった経緯として、専門学校生も同時に受験するなか、フランス語で書かれたレシピを見て料理を作る入社試験ではとても緊張しましたが、今まで積み重ねてきた技術と知識を最大限に生かして無事内定を得ることができましたと語りました。



11 月 20 日 (金) には「卒業生の声を聞く会」が都城市立祝吉中学校で行われ、自動車工業科 3 年生の八重元 拓海 君が参加し、祝吉中学校の生徒へ自分の夢や本校の魅力を伝えました。八重元君は、自分の夢である日産自動車のエンジンメカニックになりたいと思ったきっかけ、その実現に向けての取り組み、夢の大切さを後輩に向けて

伝えました。話の中で「自分の夢を思い描いてください、その夢を信じて努力して下さい、夢を忘れないでください、その夢が自分のみちしるべになります」という言葉に、メモを取っていた中学生たちが顔をあげて聞き入っていたのが印象的でした。最後に「大きな壁にぶつかっても諦めません、夢を信じて必ず叶えてみせます」と締めくくりました。エンジンが大好きということもあり、途中で専門的な内容も交えるなど、卒業生の成長した姿に先生達も嬉しそうでした。

“For the students who will accomplish with faithfulness”



平成27年度 調理科卒業作品展開催

12 月 19 日 (日) に本校の体育館にて、調理科 3 年生 (65 名) の卒業作品展が開催されました。和食・洋食・中華・菓子などを生徒達が 3 年間で学んだ知識や技術を全て注ぎ込み、メニューの考案、試作を繰り返しながら準備にあたりました。当日も早朝より準備を行い、それぞれの生徒が集大成として創作した料理を披露しました。会場では色とりどりの料理が並べられ、保護者をはじめ中学校の先生方は、生徒たちの成長に感心の声を上げていました。これまでの感謝の気持ちを調理を通して表現し、これから全国各地で活躍し業界を支えていく決意を伝える素晴らしい機会となりました。

作品 PickUp - 3 年間の集大成を紹介 -



「おせち料理 1 の重」
木上 勇介 君 (山之口中出身)



「フルーツカービング」
柚木崎 直 君 (三股中出身)



「ローストチキン」
樋高 虎次郎 君 (国分南中出身)



「チョコレートケーキ」
檢崎 香玲 さん (三股中出身)



“For the students who will accomplish with faithfulness”